

様式3

指定管理業務 事業評価書(市及び指定管理者作成)

平成26年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市営釣場 神扇池
施設所管課	建設経済部 商工観光課 (内線593)
指定管理者名	サンワックス・都市管理サービス共同事業体 (報告: 代表企業 (株)サンワックス)
指定期間	平成 26年 4月 1日 ~ 平成 31年 3月 31日 (2期 1年目 ※通算 6年目)

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価		
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務				
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	4	4	
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3	
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	4	4	
	2 施設利用に関する業務				
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	4	4	
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	4	3	
	3 保守点検並びに清掃等業務等				
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	4	4	
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	4	4	
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	4	4	
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3	
	4 事業の実施に関する業務				
	(1)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	4	4	
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	4	3	
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2			
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3	
	II サービスの 質の 評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3
		2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	4	4
3 運営業務		備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	4	4	
4 自主事業		実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	4	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ 安 定 性 の 評 価	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	4	4
合計得点		I・II・Ⅲの評価点数の合計(得点/満点)	70 95	68 95

総 括	指定管理者の自己評価	<p>H26年度は再指定をいただいたため、2期目初年度(通算6年目)の運営となりました。昨年より共同事業体による指定管理者として、基本協定書や管理業務仕様書に基づいて管理運営業務を行いました。代表企業である㈱サンワックスは運営管理全般の業務及び大会・イベント等の開催を担いました。また、構成企業である都市管理サービス㈱は維持管理及び施設修繕等の営繕業務を担い、利用環境の整備に努めました。</p> <p>以前より、指定管理者が主催する釣り大会では、イベント性を上げるため、「季節」や「テーマ」を設定して開催をしております。『テーマ』別として好評をいただいているのは、夏休み期間に実施する2人1組の「ペアマッチ大会」、マルキユー協賛大会である「天水杯」、過去からの継承大会として「市民釣り大会(神扇杯)」があります。市民釣り大会は、今年度通算20回目の開催大会という事で、幸手市長にご来場いただき、表彰・プレゼンターをしていただきました。</p> <p>また、『季節』別の大会では、厳冬期の釣りの醍醐味である「底釣り大会」があります。釣果への期待が厳しい時期だけに玄人向けの大会ではありますが、この時期の利用者離れを抑えたいことから継続して開催を計画してまいります。</p> <p>日々の個人利用、土日祝日を主に利用される例会団体、大会・イベント参加の年間総数も増加傾向となり、H25年度の入場者数 30,201人に対し、H26年度は13.2%増の 34,193人のご利用をいただきました。これは過去5年間をみてもH21年度と同水準の好結果となります。</p> <p>これには、①H25年度の仕切り網新設工事による環境整備 ②放流へらの年間総量のアップ(H24年度:6.1t、H25年度:8.3t、H26年度:10.4t) ③運営上の維持管理(新設水車・揚水ポンプの稼働、効果的な薬品使用等)が好循環で回り、へら鮎の生息環境(水質)の維持がされ、利用者の釣果に反映されている結果でもありと考えております。</p> <p>現在の利用者動向及び管理運営状況を定量的に判断するため、平成26年11月～12月にかけて利用者アンケートを実施しました(補助資料2頁「6その他追記項目」参照)。集計の結果、利用者傾向(お住まい、性別、年齢層など)は前回と同様の結果となりましたが、『利用頻度』の結果では「6割以上が初めての利用」、『スタッフの印象(悪い)』には「5割以上の方にスタッフの専門知識がない」という顕著なデータが見られました。</p> <p>これは、釣果期待に対する利用者増の傾向が見られながらも、利用者ニーズに応えきれていないという運営上の反省点となります。公共の福祉を増進するという目的とともに、2期目を迎えた指定管理者として、スタッフの専門的な対応力の向上、および市場縮小(へらぶな釣り人口の減少)を図るための広報・アウトリーチ活動への取り組みが重要であると認識しております。</p>
	施設所管課の評価	<p>適正な運営・維持管理が行われている。昨年度に行った仕切網の工事、放流数を増加したこと、水質対策などにより、年間を通じて利用者数(収入)の増加が見られた。また、ホームページによる日々の釣果情報の提供や自主事業の充実など利用者拡大に努めた。</p>

総合評価	区 分	A(得点率71.5%)
	特記事項	特になし

《評価区分》

評価点数	5	協定書等の基準を遵守し、その水準を大幅に上回り、特に優れた内容である
	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	S	極めて良好に施設を管理している。(得点率80%以上)
	A	良好に施設を管理している。(得点率60%以上80%未満)
	B	概ね適正に施設を管理している。(得点率40%以上60%未満)
	C	改善を要する管理運営状況である。(得点率40%未満)